

目 次

○ 座談会	6
【テーマ】～ 全員が楽しく「わかる・できる」授業 ～	
(教学指導課義務教育指導係長 武田 育夫 特別支援教育課指導係長 岸田 優代 特別支援教育研究委員)	
○ はじめに	16
1 特別支援教育への転換と本県における課題	16
2 長野県特別支援教育連携協議会の報告書について	16
3 発達障害児等の指導・支援の考え方	18
4 ユニバーサルデザイン的な授業の実践化	20
第1章 通常の学級における発達障害児等への指導・支援	
～ユニバーサルデザイン的な授業の実践化に向けて～	
1 全員が力を発揮し、輝く学級づくり	
事例1 安心感と関係性が高まる学級を願って	
～小学校低学年での学級づくり～	26
事例2 違いを認め合う学級集団を目指して	
～小学校高学年での学級づくり～	28
事例3 集団としての規律と自立的・主体的な取組を大切にしながら	
～中学校での学級づくり～	30
2 全員が楽しく「わかる・できる」授業の工夫	
事例4 自ら求め、決め出し、動き出す学習	
～小2 生活科「ひつじ」の素材の教材化を通して～	34
事例5 「楽しい」「おもしろい」を切り口に理科好きの子どもを育てる実践	
～中学校理科 子どもの意識の把握・分析からの授業の工夫～	36
事例6 体力・技能差を超えてみんなが楽しむ体育	
～中1 保健体育「卓球」単元での工夫～	40
事例7 「ねらい・めりはり・見とどけ」を大事にした授業づくり	
～中1 数学「変化と対応」～	43
事例8 描いて満足感を感じるための支援	
～小5 図工「田植えの絵」での写生の支援～	46
事例9 具体的操作活動とグループ学習で思考を深める実践	
～小5 算数「量と測定」領域での工夫～	48
事例10 話すことに苦手意識がある子どもへの指導・支援	
～小6 国語 領域「話すこと・聞くこと」での授業の工夫～	50
3 学級集団の中での個別の配慮	
事例11 離席行動の多い児童に配慮した全員参加の授業	
～小2 国語 説明文教材における動作化を取り入れた実践～	54

事例 12	計算が苦手な子どもへのドリルでの配慮 ～小6 算数の1分間ドリルでの実践～	56
事例 13	注意を受けやすい子どもへの予防的な支援 ～中2 理科における集団の中での個への配慮～	58
事例 14	視覚的困難さがある子どもへの配慮 ～小5 算数における教具の工夫～	60
事例 15	作文が苦手な子どもへの指導・支援 ～小3 WISC-IIIを活用した実践～	62
事例 16	不適切な行動が繰り返される子どもへの指導・支援 ～行動を分析し、解決の方法を探る～	64
事例 17	「可能性の芽」を生かした指導・支援 ～中1 英語 スモールステップでの単語練習～	67
4	通常の学級への入り込みの指導・支援	
事例 18	特別支援教育支援員の悩みに寄り添う校内支援体制 ～特別支援教育コーディネーターの助言を活かして～	72
事例 19	通常の学級における教科指導が充実するTT体制 ～効果的に機能するTT連携を目指して～	74
○	チェックリスト 通常の学級における支援の工夫	76
○	参考 教室環境の整備	80

第2章 一部学級外での指導・支援

～個別・小集団の指導・支援により、通常の学級につなげる～

1 リソースルーム（支援室）での指導・支援

事例 20	校内の支援室を活用して教科学習の補充をすすめて ～じっくりと学んで、自信をつけ意欲的になったトモコさん～	86
事例 21	個別学習で「気持ちの伝え方」を学んで ～クラス替えがきっかけで学級にいられなくなったヒロコさん～	88
事例 22	個別支援から小集団支援へと生活の場を広げて ～自分に自信がもてず、集団が苦手だったケンさん～	91
事例 23	集団へ影響を及ぼす子どもへの指導・支援 ～職員全体の共通理解と個別の学習～	96

2 自閉症・情緒障害特別支援学級を弾力的に活用した指導・支援

事例 24	不登校の子どもを支える体制を全校で検討して ～大きな集団に戻る前に特別支援学級を活用して～	102
事例 25	情緒面が安定するまで一時的に特別支援学級を活用して ～落ち着いた環境で学習して自信を取り戻したユウジさん～	104

3 LD・ADHD等通級指導教室での指導・支援

事例 26	友だちとのトラブルが多い子どもへの指導 ～人とかかわりを楽しめることを大切にして～	108
-------	--	-----

事例 27 友だちとの関係が築きにくい子どもへの指導 ～スモールステップで支援を組み立てて～	114
---	-----

第3章 自閉症・情緒障害特別支援学級での指導・支援

～力をつけて、通常の学級、学年等につなげる～

事例 28 情緒面の安定を図り、大きな集団での学習につなげて ～担任間の連携で、原学級での学習時間を増やした事例～	122
事例 29 全職員の共通理解による支援 ～「可能性の芽」から「できる状況づくり」へ～	124
事例 30 個別の学習でつけた力を原学級での学習に生かして ～担任間の連携を大切に、原学級につないだ事例～	126
事例 31 友だちとのかかわりが苦手な子どもへの支援 ～自・情障学級におけるソーシャルスキルトレーニング～	128
事例 32 少人数の生活から集団の生活につなげるための支援 ～特別支援学級での学びを学年・学校全体に広げていった事例～	131

第4章 ワンポイント支援 ～こんなとき、どうする？～

1 ひらがなの習得が難しい	137
2 漢字を覚えることが苦手	138
3 音読が苦手	139
4 作文に対する抵抗感が強い	140
5 意味の理解や推論することが苦手	141
6 注意の持続が難しい	142
7 グループ活動が苦手	143
8 形の特徴をつかむことが難しい	144
9 文章題が苦手	145
10 指示の通りに動くことが難しい	146
11 ことばで相手に伝えることが難しい	147
12 整理整頓が苦手	148
13 衝動的な言動が多い	149
14 興味・関心に偏りがある	150
15 場面の切り替えが難しい	151
16 予定変更の受入れが難しい	152
17 行動が遅い	153
18 忘れることが多い	154
19 授業中に席を離れてしまう	155